



修文錬磨

～学び、鍛え、磨く～

令和8年4月22日
第2号
八幡平市立西根中学校
(文責：高橋 茂)

盛岡市内一周継走大会 男子3位 女子5位

4月19日(日)爽やかな青空の下、盛岡市内一周継走大会が行われました。中学、高校、一般の男女計6部門に242チームが出場。県内各地から集まった約1,100人の選手が声援を力に駆け抜けました。

会場となった盛岡市の最高気温は22.3度(平年比7.1度高)、盛岡市を含む県内10の観測地点で今年最高を記録しました。急な暑さとなったためコンディション調整が心配されましたが、西根中の特設駅伝部の選手たちは、地道な練習で培った力を十二分に発揮し、男子3位(89チーム中)、女子5位(74チーム中)、男女とも入賞という素晴らしい成績を残しました。第79回を数える歴史ある大会に、今年も確かな足跡を刻むことができました。

これまでの様々なご支援ご協力、そして当日の力強いご声援に心より感謝申し上げます。



一走 さん



二走 さん



三走 さん



四走 さん



一走 さん



二走 さん



三走 さん



四走 さん



五走 さん

いじめ問題への理解を深めよう

4月20日(月)校長が講師となり、1学年道徳「いじめ問題への理解を深めよう」を行いました。この授業は、毎年この時期に行っているもので、今年で3年目。西中生は、全員が授業内容を把握し、いじめに対し共通認識をもったうえで日々の生活を送っています。また、教員も共通認識を持ち組織で対応しています。

いじめは生徒にとって身近な話題です。今年の一年生も、自分事として真剣に取り組み、活発に意見を出し合う姿が見られました。

中学生にはまだまだ未熟なところがあります。その一つが人間関係づくりです。保護者の皆さまのお力がまだまだ必要ですし、生徒一人一人の努力の積み重ねが必要です。学校、家庭が同じ方向を向いて子どもたちを支援していくことが大事になります。

1 ねらい

- (1) 学校として「いじめ問題」に真剣に誠実に取り組むことを生徒に伝える。
- (2) 「いじめの様態」「伸ばしたい・広めたい言葉」など、いじめ問題に関する正しい知識やいじめをなくすために心がけていくべきことを学年全体(生徒及び教員)で確認する。

2 内容及びポイント

- | | |
|---------------|-----------------|
| (1) 肯定的な聞き方 | まわりに受け入れられる喜び |
| (2) プチ幸せ自慢 | 日常に幸せを見つける |
| (3) いじめの定義 | どんなことがいじめに該当するか |
| (4) いじめの事例検討 | いじめを多角的・多面的に捉える |
| (5) 言葉(心)を高める | いじめの多くは言葉(心)の問題 |
| (6) 脳科学を活用する | 自分で自分に呪いをかけない |

3 いじめの事例検討

次のいじめ事例についてグループで感想や意見を交流しました。ご家庭でも、お子さんと話し合う機会をぜひ持ってみてください。

中学校1年生のユウサクは、少し太り気味で動作が遅く、最近まわりからは「いじられキャラ」と言われている。いつも一緒にいるケンジやヨウタロウからは、何かあると「おまえ、おせーよ!」「おまえ、違うよ」などと言われ、叩かれたり蹴られたりしている。それがお笑いのようなので、まわりの子たちは笑っている。ユウサクもふざけて、「どうも、スミマセン!」などと言って受け止めている。

一部の子どもたちは、ユウサクがいつもバカにされたりからかわれたりするのをこのままにしてよいのか、気になっている。

4 これまで授業を受けた生徒の感想抜粋(令和6,7,8年度)

- ・ 一番初めにやったプチ幸せ自慢。一日に一回でもやると、気が重いときに少しでも幸せな気分になれるから、できれば毎日やろうと思った(心の中で)。
- ・ プチ幸せ自慢のように、日常生活にはちょっとした幸せがたくさんあると気づいた。
- ・ 自分の意見を言って反応されることで、話しやすくなったり話してよかったと思え嬉しくなった。

- ・ いじめは自分の考えで進めるのではなく、相手の考え方に基準があるので、一つ一つの行動・発言は責任が重いと改めて認識できました。
- ・ いじめは人それぞれ捉え方が違うのではなく、「いじめの定義」があり、どういうものがいじめになるのかが分かった。
- ・ いじめの傍観者もいじめに加担しているのと同じだということを知った。
- ・ 事例検討を通して、加害者にならないことはもちろん観衆や傍観者にもならないようにする。止めたり先生に伝えたりするようにしたい。
- ・ 今日は、無意識に相手の嫌がることを言っているかもしれないことが分かった。
- ・ いじめの定義やいじめの事例検討の学習を通して、「どんなことがいじめになってしまうのか」や「いじめが続いたりエスカレートしたりしてしまう根本的な原因」を学ぶことができた。
- ・ いじめは些細なことから始まって、楽しい雰囲気になっちゃうと、やっている側は調子に乗ってエスカレートするし、やられている側は言い出しづらくなってへらへらしちゃって日に日に言いづらくなるんだろうなって思った。
- ・ いじめの事例検討で意見を共有することで、色々な立場の考え方ができた。
- ・ 「自分と違うこと（考え）を悪いこと（考え）」と捉えてしまう時があるので直していきたい。
- ・ 今日考えた「伸ばしたい・広めたい言葉」を今後活用できたらいいなと思いました。
- ・ 「相手に対して悪口を言うと、自分に悪口を言っている」と脳が判断することに驚いた。
- ・ ○○が言っていた。これから言葉遣いを考える。
- ・ プレー中でも、お互いに「そこ行けよ」とか「なんで負けるの」とか今までは言い合っていた。マイナスな感じじゃなくてプラスな発言をする。
- ・ 「ありがとう」「頑張れ」「いいね」などの言葉をたくさん使いながら生活したいと思った。
- ・ 3年生が「伸ばしたい・広めたい言葉」をたくさん使い、1, 2年生もそれを真似して使ってくれたら西根中がもっと良い学校になると思いました。
- ・ いじめの定義について知ることができたし、言葉（心）を高めることを学年で当たり前のようにできれば、いじめはなくなると思う。
- ・ 人の心に温かい火を灯せる人間でありたいと思いました。
- ・ 自分で何とも思わないで言った言葉を相手はすごく気にしているかもしれないし、逆に自分と同じ考えをしているかもしれないし、今日、改めて人間関係は難しいなと思った。いじめには意図的にしているいじめと気付かないうちにいじめに発展している場合があって、それでも2つに共通していることは、それを始めるきっかけになる人が必ずいるということが分かった。
いじめを始める人の存在が、クラス内で大きければ大きいほど、いじめはどんどん酷くなっていくし、優しい人ほどいじめられる対象になりやすい。

P T A 総会（紙面開催）回答期限は 4 月 23 日です

4月20日（月）にeメッセージでお知らせしておりましたが、P T A総会（書面開催）への回答期限は、明日、4月23日（木）となっています。今年度の西根中学校P T Aの活動に関わる大切な総会となりますので、全家庭からの回答をお願いします。

また、「まなびフェスト」に関わるアンケートを11月に実施予定です。お子さんの、ご家庭での様子を振り返ったり、学校での様子を共有したりしながら回答いただけるようお願いします。